



松阪市橋西地区消防団管轄エリアにおける 防災タウンウォッチングへ参加

防災委員会 委員長 市川恭子

避難用道路沿道：倒壊の恐れのある建物
(落下の恐れのある鉄骨)

松阪市消防団の活動の一環として「建築士からの視点から見た防災タウンウォッチング」への協力要請があり、9月17日防災委員会活動として参加しました。(9月末に実施する消防団活動の事前調査協力として)防災委員会メンバー5名と三重県職員1名の6名が、消防団担当者と共に橋西地区を3班に分かれて、主要緊急避難道路となる区域内の建築物・工作物についてタウンウォッチングをし、危険ヶ所や問題点等の結果を、事前に準備した都市計画地図上に記録する作業を行いました。

当日は曇天ではあったものの雨に降られることも無く、事前に予定したエリアを回りきることが出来ました。(電柱については消防団の団員に中部電力職員がいる為、今回は調査対象外とした)



打合せ風景：タウンウォッチングエリア確認
(橋西地区市民センターにて)



調査員による調査風景危険状況を
地図へ記入作業

三重県建築士事務所協会 正会員と賛助会員との親睦ゴルフコンペ開催

会員増強委員会
委員長 伊東 俊一



優勝 梶尾 重信 氏
準優勝 国安院 章良 氏
B.B 浅尾 正幸 氏

会員増強委員会にて正会員・賛助会員との親睦ゴルフコンペを2016年10月20日木曜日に三重フェニックスカントリークラブで開催いたしました。参加者は18名で5組にてラウンドして、賛助会員や正会員同士の交流と親睦を図ることが出来ました。

当日はセルフプレーでお互いに球の行方を確認もしながら、天候にも恵まれてプレーが出来ましたことは皆様方の日頃の心掛けなのではと思います。

また、順位を付ける方法としては、シングルペリアとし成績の中ぐらいの方が優勝できるように計画しましたところ、相尾氏が見事優勝されました。

プレー終了後にはパーティにて表彰を行い、その時の賞品についても全員に当たるように準備出来ましたことは、賛助会員の皆様方のご協力のおかげかと思えます。

初めての試みではございましたが、今後もこのような事業を行いながら正会員・賛助会員との交流を持てる場をつくって行きたいと思えますので、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。



鈴鹿支部

鈴鹿支部では平成28年6月19、20日に昨年度同様支部研修旅行を実施し長野県へ行きました。19日は上高地、20日は松本城を中心に見学をしました。支部研修旅行は昨年度から始まった事業ですが、親睦を深めるよい機会となっているので今後も継続できればと考えております。

また、平成28年10月16日には、鈴鹿市の事業である鈴鹿市総合防災訓練に参加しました。避難所安全確認及び応急危険度判定の演習、仮設住宅展示応援等を担当しました。今後も行政の事業への参加も積極的に行っていきたいと考えております。



伊勢支部

伊勢支部は現在32名の会員で構成されています。隔月に定例会として、支部長・理事会報告、支部委員会報告および研修会を行っています。また隔年に視察研修旅行を実施しています。建物等の視察見学を行うとともに、会員の親睦を深める機会となっています。

例会・研修会

- 平成27年6月 6日 (耐火外装材について)
- 平成27年8月 11日 (耐震補強工法について)
- 平成27年10月 13日 (伊勢市役所建築関係職員との意見交換会)
- 平成27年12月 8日 (輻射式冷暖房装置について)
- 平成28年2月 9日 (BIMの活用事例)

視察研修旅行(京都・兵庫1泊2日、参加者15名)

平成27年11月8・9日

新年会(魚勤にて参加者26名)

平成28年1月 7日

支部総会(伊勢建設業会館にて)

平成28年4月 7日



津支部

津支部の活動レポート

津支部は今年度も様々な活動を行っています。
平成28年6月18日(土)には、研修活動の一環として静岡県浜岡原子力発電所を見学。総延長1.6kmに及ぶ防波壁他、様々な地震、災害対策の内容を見学しました。

また、10月9日(日)には「津まつり」に参加。イベントブースの出展を行いました。当日は建築士事務所のアピールとして建築相談会を開催し、エコバッグ作りのイベントを行いました。年々規模が大きくなる津まつり、当日も多く的一般参加者にお越し頂き、228名の方々にエコバッグを製作して頂きました。

このような機会が会員相互の研鑽、親睦に繋がるよう、今後も活動を継続していきます。

津まつりイベント開催



津まつりイベント開催

浜岡原子力発電所見学



松阪支部



毎年恒例となっている、商工会議所なんでも相談会への参加。合同勉強会、会員研修会を開催するなど、地域社会での設計監理を担う団体となるよう少数精鋭ながら(若い新しい仲間も増え)精進し続けています。

平成28年4月22日	平成28年度通常総会 懇親会
平成28年6月22日	合同研修会 役員会
平成28年9月12日	焼肉親睦会
平成28年10月2日	松阪商工会議所 なんでも相談会
平成28年11月9日	役員会
平成28年12月7日	松阪建築協会との合同忘年会
平成29年2月中旬	会員研修会 役員会



●松阪支部●

一級建築士事務所
設計工房
NEXT

- 所在地：〒515-2324
松阪市嬉野町1487-15シティハイムフォーレスト101
- TEL：0598-30-5546
- FAX：0598-30-5546
- 代表者：伊藤 達也
- 設立：平成16年5月26日

設立後、13年目、生まれ故郷の嬉野の地に引越して6年が経過致しました。
年々、益々業務量が増え続け、所員数も増え、順風満帆・・・
と行く予定が、相変わらずの無計画な自転車操業的（ご想像にお任せ致します）な個人事業所ですので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



事務所
紹介

- 所在地：〒515-0821松阪市外五曲町66-1
- TEL：0598-30-6811
- FAX：0598-31-2800
- 代表者：水谷 豊
- 設立：平成19年3月19日



●伊勢支部●

やかた
株式会社 館
設計事務所

平成19年に事務所を設立し、組織の法人化、事務所移転を行い、来年で10年目を迎えます。
スタッフにも恵まれ、色々な方に支えられての事と感謝しております。

これからも自己満足の設計ではなく、お客様の要望のかなった設計を心掛け、感謝の気持ちを忘れず、スタッフと共に、日々努力していきたいと思っています。



- 所在地：〒517-0214 志摩市磯部町迫間409-3
- TEL：0599-55-0157
- FAX：0599-55-0157
- 代表者：向井 照雄
- 設立：昭和59年9月1日

●志摩支部●

向井照雄
建築事務所

事務所開設から早 32 年が経ちましたが 2 年半前に事務所を志摩市阿児町から磯部町に新築移転しました。

1 階の生活がしたいと思い、以前から計画を立ててきましたがやっと実現出来ました。今後の自分達を考え満足の出る空間が出来上がったと思っています。又移転場所は子供達の通学路にあたり、毎日登下校の時間は元気な声が飛び交うのどかな場所にあります。毎年年齢も重ねて参りますが、体調もよくなり残された時間を家内と頑張ってやっていきたいと思っています。近くにこれられましたぜひお立寄りください。

事務所
紹介

●伊賀支部●

A・エース設計

- 所在地：〒518-0007 三重県伊賀市服部町366-1
- TEL：0595-24-9513
- FAX：0595-24-9213
- 代表者：中村 明良
- 設立：平成8年11月15日



本年度設立 20 周年を迎える事ができました。昨年 1 月に恩師（森本周次氏）より事務所を譲り受け心機一転、現在地にて開業しております。構造設計を主な業務としており、近年多発している大規模地震に対して、責任の重大さを改めて感じております。これからも皆様に信頼される企業として努力していきたいと思っております。



New face

新入会員紹介



大和リース 株式会社
三重営業所一級建築士事務所

代表者 牛田 泰男
住 所 〒510-0834
四日市市ときわ1丁目7-14
T E L 059-351-4088
F A X 059-351-4087

品質・技術・情報力の向上に努め、環境に配慮した
安全で確かな商品、安らぎとくつろぎの空間を提供します。

代表者 後藤 博明
住 所 〒510-0971
四日市市南小松町 611-12
T E L 059-325-6860
F A X 059-320-4667

デコラス一級建築士事務所

・建築デザイン・建築設計施工



株式会社 山本設計

代表者 山本 健司
住 所 〒516-0804
伊勢市御園町長屋 2639 番地
T E L 0596-22-8800
F A X 0596-22-8811

『感謝』と『泰然自若』

代表者 片山 正司
住 所 〒517-0502
志摩市阿児町神明 1113-30
T E L 0599-43-0266
F A X 0599-43-2951

建築設計 間 34



凰建設 附属凰設計

代表者 辻 忠男
住 所 〒515-0302
多気郡明和町大淀 11-1
T E L 0596-55-5300
F A X 0596-55-5303



目 安 箱

アメリカ大統領誕生

桑名支部 伊藤 茂

今年は、アメリカで新しい大統領が誕生しました。大統領選挙には ヒラリー氏とトランプ氏が候補となり、正直ヒラリー氏が勝つのではないかと予想されていました。

私も個人的に驚いた結果となり、今後の日本との関係がどうなっていくのだろうか？とか、アメリカという国はどうなっていくのか？とテレビでの映像や専門家のコメントなどに関心が向くようになりました。ドナルド・トランプ氏とは政治家というより実業家、商売人であると知り政治家的視点ではなく実業家として活躍す

るのではと期待したい部分が多いにあります。

過激的な発言や世界的経済が混乱し予想外の事態が起きると思います。円安が進み日本の住宅ローン金利の低下に繋がって行くのではとも考えます。

我々建築業界も住宅ローン金利が低下していけば住宅をと考える個人のお客様も増えるのではと、単純に考えたいものです。この先日本やアメリカが どの様な方向に進むかは解らないですが、新しい風が吹き込まれたことにより何かが変わって行くことは多いに期待したいことです。建築業界も新しい風を取り入れて何かが変わって行く年にしたいものだと思います。

建築士の地位向上も含め建築物の耐震性、耐久性、機能性も加味しながら後世に残る建築物を残していきたいと思います。

近代建築の消滅危機

四日市支部 服部 昌也

旧上野市庁舎（1964年竣工）が解体消滅の危機にあります。DOCOMOMO（ドコモモ：モダン・ムーブメントにかかわる建物と環境形成の記録調査および保存のための国際組織）に三重県で唯一選定されている建物です。旧上野市庁舎をはじめとする公共建築群でつくる都市景観は日本では稀有な存在でした。国立西洋美術館が世界遺産となり、鎌倉市の元神奈川県近代美術館の保存活用が決定し県の文化財に指定されるなか、同じ坂倉準三設計の当庁舎を保存利用という機運は地元建築家や一部市民の間では高まってはいますが、市議会などでは取り壊して新しい施設とすることが大勢を占めているようです。

昨年6月25日には現地でドコモモ選定プレート贈呈式とシンポジウム「モダニズム建築を使い続ける」がドコモモ・ジャパンとみえヘリテージの会主催で行われました。また耐震

性の確保と図書館・郷土資料を展示する施設への改修計画案も立案され、費用面でも新築の場合に比べて格段安く賄えるとの試算も提示されています。

近代建築の消滅は日本だけでなく世界でも危惧され、20世紀の建築は将来歴史から欠落するのではないかとまで言われています。

現在残っている歴史的建物は、城郭や宗教建築などその規模・形状、そこで使われる材料も一般の建物とは異なり立派で、地域の精神的な象徴となっているのに対し、近代建築は普段使いの身近な建物で、使われている材料も貧しかった当時の建材で劣化も目立ち、ただ古くて汚れた印象が勝ってしまうことが残そうとする市民意識が起りにくい要因ではないでしょうか。

歴史的な意味合いはともかく、私は残すべき近代建築のもつ空間の心地よさ楽しさや建設に関わった人たちの熱意の感じられる雰囲気が好きです。こういった感じは、現代の建物ではなかなか味わえないように思えます。建物本質は図面や写真では感じ取れないものです。将来も心地よく楽しい建築をつくっていくために、近代建築の保存利用は欠かすことはできないと思います。



あなたの家は家族を 守れますか？

鈴鹿支部 新開 悟弘

近年、日本各地で地震災害に集中豪雨など自然災害により甚大な被害と尊い命が失われています。

私はこの業界に入ってから、三重県が主催する防災の勉強会や研修会に参加してきました。みえさきもり塾で学び、いろんな立場や側面から考えて来ました。

「みえ歴史的町並み防災・復興研究会」「みえヘリテージの会」「全国町並みゼミ」「NPO亀山文化資産活用研究会」「亀山耐震推進委員会」「まちづくり委員会」などに属して各自治会や団体で防災・減災の意識の高揚を図るべく説明会の講演や、タウンウォッチングに参加し汗を掻いていますが防災意識があまりにも少ないのには困惑しています。

例えば、あなたの家の家具の固定はしてあり

ますか？耐震診断はしていますか？と訊ねると、していない！家が倒れたら市が無料で解体してくれる！・・・自分の命やゲガはしないものだといまだ思っている。

色んな団体・会社関係にBCP（事業継続計画）は如何かとお聞きしたところ、「防災訓練はしているがBCPはしていない」「非常時の連絡体制は出来ていない」とか、これではいつ来てもおかしくないと言われる南海トラフ巨大地震災害時には機能しないのではと思う。

ぼやきはこの辺で、熊本地震応急危険度判定及び震災報告は以下の通り平成28年4月14日21時26分、熊本県熊本地方に震度7の地震が発生し、平成28年12月14日現在死者161名、避難者最大数、熊本県183,882人、大分県12,443人

三重県から応急危険度判定士として第二陣として派遣要請があり、4月25日から29日まで、行政10人民間2名の計12名で現地に入りました。

当初は「寝袋持参！畳敷きテントを用意する。」





と国からの連絡でしたが、三重県がビジネスホテルを確保（自己負担）してくれて福岡県久留米駅集合し、移動はレンタカーで、宿泊は八女市のビジネスホテルでしたので、他県より恵まれていました。他県はキャンプ場からバス移動です。全国から 200 人以上の判定士が集結していました。その応急危険度判定を行う準備の担当職員（コーディネーター）は大変で、判定場所の地図の作成、備品の準備、判定の集計と被災者の対応等が出来ないため、U R 都市機構全体マネジメント要員（国土交通省都市局からの要請による）が活躍されていました。

三重県では、我が町では、どうなるのか。現地に入り 2 名 1 班、計 6 班に分かれ、今回はマニュアルどおり外観診断のみであったので内部もみて欲しいという被災者の声も。理由としては、修理して使えるのか又は解体したほうが良いのか、建築士のアドバイスが欲しい！

ぐちゃぐちゃになっているんだ！「昼間は掃除に自宅に帰っているけど、夜は余震が怖くて、避難所の駐車場の車の中ですごしているんだ」

と聞きますと、現状を私なりに説明を行いました。

精神的に結果は良くも悪くも、あんどされ大変喜んで頂き、暑い中ご苦労様！遠い所からありがとうございます！と、栄養ドリンクとお茶をいただきましたが、被災されている方からいただいていたとは思いました。

改めて今回の災害を教訓として、私たちが考えなければならない事は・平時からの準備が第一！

耐震補強工事をしていたら。

家具の固定をしていたら。

災害コーディネーターを充実していたら。

・人事ではない！

私は、建築士として備えて行きたいです。





視点・論点

2004年(平成16年)に伊勢から熊野に至る参詣道「熊野古道伊勢路」が世界遺産に登録されてから今年で12年目を迎えます。

2年前の2014年(平成26年)には、世界遺産登録から10年を迎えたことから、10周年記念事業が開催され同年の観光客数は約429,000人を記録し大勢の方々が熊野古道を歩いてくれました。

最近ではトレッキング(山歩き)を楽しむ人が増えていて世界遺産や史跡・名跡・パワースポットを巡るツアーも人気を集めています。

実は、尾鷲は知る人ぞ知る「秘境」の宝庫。馬越峠や八鬼山越えの古道ルートの周辺には様々な史跡。名跡・パワースポットが存在します。

尾鷲商工会議所女性部では自然や歴史を満喫できる出歩きコースを世の中に発信しようとプロジェクトを立ち上げ、「尾鷲トレイルを歩こう」という目標を掲げて実際に自分たちの足で歩いてみて、「尾鷲にもこんな素敵なおとこがあつたなんて。・・・」。この感動をもつとたくさんの人と分かち合いたいとの思いで「魅せます!尾鷲」という秘境ガイドブックを作成しました。

そもそもトレイルとは英語で自然道のこと。特に距離の長い自然道は、ロングトレイルと呼ばれています。尾鷲市街地をぐるりと囲むように、はばかる尾根筋、人はそれを尾鷲トレイルと呼び、まさしくロングトレイルが存在します。

この尾鷲トレイルは尾鷲水地地区上の水平道入口から約2.4kmのアプローチを経て紀北町との境に当たる猪ノ鼻岬を起点に、猪ノ鼻岬—小山浦狼煙場—水地越峠—オチョボ岩—天狗倉山—馬越峠—便石山—海落山—汐の坂峠—砥石谷山—檜尾—檜尾峠—高峰山—古川山—矢ノ川峠—中山—小坪—十三田谷—八鬼山—荒神堂—十九鬼峠—展望の丘—大曾根の頭—行野浦神社—弁才天神社をつなぐ尾根筋のことを指します。

西尾根(おわしアルプス)の処々に点在するスギ・ヒノキの巨木その他、ヒメシャラ、シャクナゲ、モミ、ツガ等のバラエティに富み、紀伊半島最深部の険しい山並みとどこまでも雄大な熊野灘を同時に眺められることから、地味ながらもスルーハイカーの目を惹く要素が揃ったロングトレイルで、健脚で3泊4日ほど要します。

市街地に密接しながら楽しむことができるまさに町と山と海が一体となつた兼晴らしいロングトレイルです。

地元では熊野古道の保護活動等に活躍している団体がいくつかあり、皆おもてなしの心で頑張っています。次の世代にレガシーとして引き継がれていくことを願うばかりです。



(紀州支部 植松顕哉)

「魅せます:尾鷲秘境ガイドブック資料」より